

平成28年度 愛川中原中学校学校経営方針及び教育の重点

－学校経営にあたり－

未来からの留学生である子どもたちは次代を担う宝である。私たちは、子どもたちの未来に思いを馳せ、生きる力と社会に主体的に関わり、より良く改善していく気概に溢れた社会人への成長を強く願い、学校教育に携わるものとしての重責を果たすべく、日々の教育活動に全力を尽くしていくべきと考える。

学習指導要領では、生きる力として示される、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成するという基本的な理念は変わらないものの、確かな学力の育成をより明確に打ち出し教育内容を再構成した。28年度の本校学校経営にあたり、全ての教職員がより良い学校づくり、教育の推進に向けて強いあこがれを持ち、学習指導要領の理念、愛川町教育基本方針を生かし、教育課題に対応する学校づくりに向け以下のように取り組むものである。

1. 学校教育目標

なにごとにも**元気・根気・やる気・本気**で取り組む生徒の育成

2. 平成28年度に目指す学校づくり（経営の重点）

（1）生徒が元気に過ごす学校 …………… **元気プロジェクトの推進**

- ・生徒一人ひとりに十分に目を向け、日常の生徒とのふれあいや教育活動を通して、生徒が自ら課題に立ち向かい、自分の良さを伸ばしていけるよう支援の充実に取り組む。

（2）生徒が根気よく学ぶ学校 …………… **根気プロジェクトの推進**

- ・生徒が学ぶ意欲を持ち、基礎的・基本的な知識・技能を身につけるとともに、思考力・表現力など、身につけた知識を活用する力を伸ばしていけるよう授業改善に取り組む。

（3）生徒のやる気に満ちた学校 …………… **やる気プロジェクトの推進**

- ・学級活動や学校行事、生徒会活動、部活動などを通して、生徒どうしが関わり合い、互いに伸びていく、やる気に満ちた温かく安心できる集団づくりに取り組む。

（4）生徒の本気を支え、連携・発信する学校 …………… **本気プロジェクトの推進**

- ・小中連携、中高連携、保護者や地域との連携の強化を図るとともに、生徒の良さや学校の良さを積極的に発信していく中で、保護者や地域に支えられる学校づくりに取り組む。